



# 安全データシート(SDS)

作成日: 2013 年 07 月 03 日  
改訂日: 2025 年 03 月 19 日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	: ダイヤブロック
銘柄名	: DF120, DF120C, DF120CH, DF122C, DF335, DF335B, DF335C, DF410, DF410C, DF517, DF517C, DF519C, DF520, DF520C, DF630, DF805C, DF825, DF825B, DF825C
化学名の名称	: アニオン性ポリアクリレート
グループ整理番号	:
推奨用途及び使用上の制限	: 廃水処理用高分子凝集剤
供給者の会社名/担当部署	: MTアクアポリマー株式会社/技術統括部品質保証室
住所	: 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目 6 番 2 号上野ビル 3 階
電話番号	: (03)6206-4505

## SDS / Safety Data Sheet

SDS No. : DIF\_AN1Db\_20250319

## 2. 危険有害性の要約

### 【物理的危険性】

鈍性化爆発物	分類できない
爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸性液体	区分に該当しない
酸性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない

### 【健康有害性】

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

### 【環境有害性】

水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

### 【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(H314) 重篤な眼の損傷(H318) 消化管の障害(H370)
注意書き	
安全対策	: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置	: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331) 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。(P303+P361+P353) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311) 直ちに医師に連絡すること。(P310)
保管	: なし
廃棄	: ・なし

### 3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : アクリルアミド・アクリル酸共重合物の Na 塩  
 化学式又は構造式:  $(\text{CH}_2\text{CHCONH}_2)_n(\text{CH}_2\text{CHCOONa})_m$

成分 [CAS 番号]/[化審法番号/安衛法番号]	濃度又は濃度範囲、%
上記ポリマー [25085-02-3]/[(6)-883/既存]	約 54%
ポリエチレングリコール [25322-68-3]/[(7)-129/既存]	約 10%
スルファミン酸 [5329-14-6]/[(1)-402/既存]	1~7%
硫酸ナトリウム [7757-82-6]/[(1)-501/既存]	5~15%
無機塩類 [-]	5~14%
水 [7732-18-5]	10%以下

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物	濃度又は濃度範囲、%
記載なし	

その他の成分情報 :

### 4.応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所に移り、うがい等により水洗し、異常があれば医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに多量の水で十分に洗い流すこと。異常がある場合は、医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合	: 直ちに清浄な水で15分以上洗浄した後、医師の診断/手当てを受けること(洗眼時は、擦ったり、眼を強く閉じさせないこと)。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。

飲み込んだ場合	: 直ちに多量の清浄な水又は食塩水を飲ませて吐かせ、医師の診断／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: データなし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	: データなし
医師に対する特別な注意事項	: データなし

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水、二酸化炭素、泡薬剤、粉末薬剤、アルコールム
使ってはならない消火剤	: 情報なし
火災時の特有の危険有害性	: 有害なガス(窒素酸化物、イオウ酸化物、ナトリウム酸化物、炭酸ガス等)が発生する。
特有の消火方法	: 消火作業は、有害なガス等との接触を避けるため、風上から適切な保護具を着用して行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 保護眼鏡、防災面、耐熱保護手袋(内層ポリエステルフェルト製) 呼吸用保護具(酸性ガス/亜硫酸ガス用防毒マスク/ライフゼム等、適切な呼吸用保護具)

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 吸入、眼や皮膚への接触を防ぐため、作業の際は、防じんマスク、保護眼鏡、防災面、ゴム製保護手袋等の適切な保護具を着用するとともに、風上から作業を行うこと。
環境に対する注意事項	: 必要に応じて水洗するが、流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起さないうち処置を行うこと。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: こぼれた場合は、掃き取って回収すること。水洗する場合は、洗浄水が河川等に流出しない様に回収すること。
二次災害の防止策	: 水に溶解すると粘稠な溶液となり、滑り易くなるので注意すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 (取扱者のばく露防止、火災爆発の防止、局所排気・全体換気の必要性など)	: 開封して取扱う場合、作業場の換気を十分に行うこと(必要により強制換気装置をつけること)。 防じんマスク、保護眼鏡、防災面、綿製又はゴム製保護手袋等の適切な保護具を着用するとともに、風上から作業を行うこと。 火気厳禁。 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避けること。 粉じんが滞留すると、可能性は極めて低いが、粉じん爆発が起こる可能性がある。 水に溶解して粘稠な溶液となり、床にこぼした場合、滑り易くなるので注意すること。 作業後は手洗い、うがいを行うこと。
安全取扱い注意事項 (エアロゾル・粉じん発生防止など)	: 紙袋が破損しないように、水濡れや乱暴な取扱いは避けること。
接触回避	: 第 10 項を参照。
保管	
安全な保管条件	: 屋内の乾燥した場所に密封保管すること(吸湿性を有するので湿気を避けること)。 直射日光下及び高温になる場所を避けること。 強酸、アルミニウム、マグネシウムとの接触を避けること。

安全な容器包装材料 : 紙袋(内袋:ポリエチ、外装:クラフト紙×三層)

## 8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度 : 設定されていない。  
:  
設備対策 : 粉じんが発生する場合、局所排気装置の設置が望ましい。  
保護具  
呼吸用保護具 : 防じんマスク(通常の手扱い時)  
手の保護具 : ゴム製保護手袋(取扱う状況に応じて選択すること)  
眼,顔面の保護具 : 側板付保護眼鏡(取扱う状況に応じて選択すること)  
皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、ゴム製長靴等

## 9.物理的及び化学的性質

物理状態,色 : 吸湿性を有する粉体・白色  
臭い : 特有な臭い  
融点/凝固点 : データなし  
沸点、初留点/沸騰範囲 : データなし  
可燃性 : 高温に熱すると燃える。  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 現在のところ知見無し。  
引火点 : なし  
自然発火点 : なし  
分解温度 : データなし  
pH : データなし  
動粘性率 : データなし  
溶解度 : 水に可溶で高粘性の溶液ないしゲル状となる。  
n-オクタノール/水分配係数 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
密度及び/または相対密度 : データなし  
相対ガス密度 : データなし  
粒子特性 : データなし

## 10.安定性及び反応性

反応性 : 酸化性物質と反応  
化学的安定性 : 自己反応性・爆発性はなし  
加熱すると分解  
危険有害反応可能性 : データなし  
避けるべき条件 : 高温、多湿  
混触危険物質 : データなし  
危険有害な分解生成物 : 加熱分解により、窒素酸化物、イオウ酸化物、ナトリウム酸化物、炭酸ガス等を生じる。

## 11.有害性情報

急性毒性 (経口) : (区分に該当しない) ATEmix の計算結果が 2,000mg/kg 以上  
急性毒性 (経皮) : (分類できない) 毒性未知成分を 0.1%以上含有  
急性毒性 (吸入: 気体) : (区分に該当しない) GHS 定義による気体でない

急性毒性 (吸入: 蒸気)	(分類できない) 毒性未知成分を 0.1%以上含有
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	(分類できない) 毒性未知成分を 0.1%以上含有
皮膚腐食性/刺激性	: (区分1) 加成方式が適用できない成分からの判定で、pH $\leq$ 2 成分が、濃度限界 (1%) 以上
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: (区分1) 加成方式が適用できない成分からの判定で、pH $\leq$ 2 成分が、濃度限界 (1%) 以上
呼吸器感作性又	: (分類できない) 毒性未知成分を含有
皮膚感作性	(分類できない) 毒性未知成分を含有
生殖細胞変異原性	: (分類できない) 毒性未知成分を含有
発がん性	: (分類できない) 毒性未知成分を含有
生殖毒性	: (分類できない) 毒性未知成分を含有
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: (区分1) CAS 番号 7757-82-6 を 10%以上含有
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: (分類できない) 毒性未知成分を 1%以上含有
誤えん有害性	: (分類できない) データなし

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性短期 (急性)	: (分類できない) 毒性未知成分を含有
水生環境有害性長期 (慢性)	: (分類できない) 毒性未知成分を含有
残留性・分解性	: 生分解性は低いと考えられる
生体蓄積性	: なし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: (分類できない) データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却炉で少量ずつ焼却すること。燃焼時に有害なガス(窒素酸化物等)が発生するので、排ガス処理設備のある焼却炉で、少量ずつ焼却処分すること。又は、法規に基づく登録業者に委託すること。 他の薬品との混合は避けること。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。容器は清浄にして、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 (国連番号)	: 該当しない
(国連分類)	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	: ばら積み輸送しない
輸送又は輸送手段に関する特別安全対策	: 水濡れ厳禁。運搬に際しては、粗暴な扱いをせず、落下・損傷・荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光を避けること。

強アルカリ、酸との混載は避けること。

国内規制がある場合の規制情報  
応急措置指針番号 : -

## 15.適用法令

化審法(特定化学物質等)	: 該当しない
消防法(危険物)	: 該当しない
労働安全衛生法(表示・通知対象物)	: <b>スルファミン酸(1~7%)</b> (CAS RN:5329-14-6);ラベル表示・SDS 交付義務対象物質(規則別表第2の1135) <b>硫酸ナトリウム(5~15%)</b> (CAS RN:7757-82-6);ラベル表示・SDS 交付義務対象物質(規則別表第2の2236)
労働安全衛生法(特化則・有機則)	: 該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR)	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則(危規則)	: 該当しない
海洋汚染防止法	: 該当しない
航空法	: 施行規則第194条危険物告示 別表第1 該当しない
大気汚染防止法	: 該当しない
水質汚濁防止法	: 該当しない
オゾン層保護法	: 該当しない
化学兵器禁止法	: 該当しない

## 16.その他の情報

### 引用文献

- RTECS(化学物質毒性データ総覧)
- 水質管理研究所 試験結果報告書 水質研発第1767号3) EU 7th Annex1
- NLM: Hazardous Substance Data Bank (HSDB)
- ECB: International Uniform Chemical Information Database (IUCLID)
- 経産省既存化学物質安全性点検
- その他  
労働安全衛生関係法令  
高分子凝集剤の安全性について(アニオン・ノニオン編),2003年4月,高分子凝集剤環境協会編

### 分類法

JIS Z 7252-2019「GHS に基づく化学品の分類方法」、JIS Z 7253-2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」、NITE-Gmiccs を参照して分類区分した。

※記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータおよび評価については必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項等については通常の取り扱いを対象にしたもので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。

記載内容の問合せ先 担当部門 技術統括部品品質保証室 電話番号 東京(03) 6206-4505